

炭鉱札

法的グレーゾーンの 「お金」のようなもの

展示

会 期／令和7年12月9日（火）～12月25日（木） 平日 9:00-21:00 土日祝日 10:00-18:00

会 場／九州大学中央図書館 3階 エントランススペース（入場無料）

関連講演会「江戸・明治・大正・昭和と炭鉱札 ―記録資料館の炭鉱札を中心にして―」

日 時／令和7年12月18日（木） 14:50-16:15

会 場／九州大学中央図書館 4階 Sky Cute.Commons
（オンライン同時配信あり）

講演者／宮地英敏（附属図書館付設記録資料館 准教授）

要申込／申込はこちらから（参加無料）

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/form/202512seminar>



申込〆切 12月15日（月）



問い合わせ先／

九州大学附属図書館 利用者サービス課サービス企画係

TEL:092-802-2480 E-mail:touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

主催／九州大学附属図書館

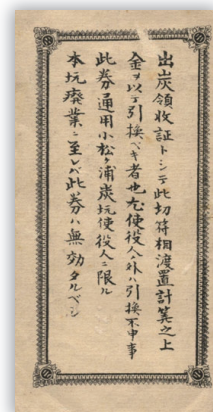
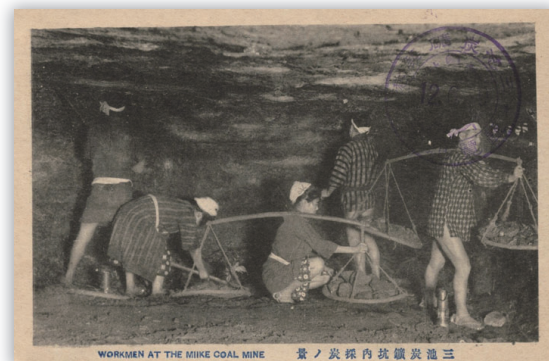
共催／九州大学附属図書館付設記録資料館

炭鋌札 法的グレーゾーンの「お金」のようなもの

九州大学附属図書館では、本学が所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催しています。今年は、付設記録資料館で保存する歴史資料を中心に公開します。福岡にはかつて筑豊、三池など全国有数の炭鋌があり、北九州の製鉄などとともに日本の産業の基礎を支えてきました。付設記録資料館産業経済資料部門では、前身となる九州大学石炭研究資料センター時代から、炭鋌に関するたくさんの資料を収集・保存してきました。今回の展示は、その中から「炭鋌札」を取り上げます。

炭鋌札

炭鋌で働く労働者たちには戦前であっても法律により、金銭で賃金を払うように決められていました。しかし実際には、「炭鋌札」というお金のお金ではない、不思議な形で賃金の一部が払われます。商品券みたいなものです。明治から大正期の北部九州では、ほぼすべての炭鋌で発行されていたとも言われています。会社側にも、労働者側にも、それぞれにとってメリットがあった、この不思議な「炭鋌札」を紹介します。



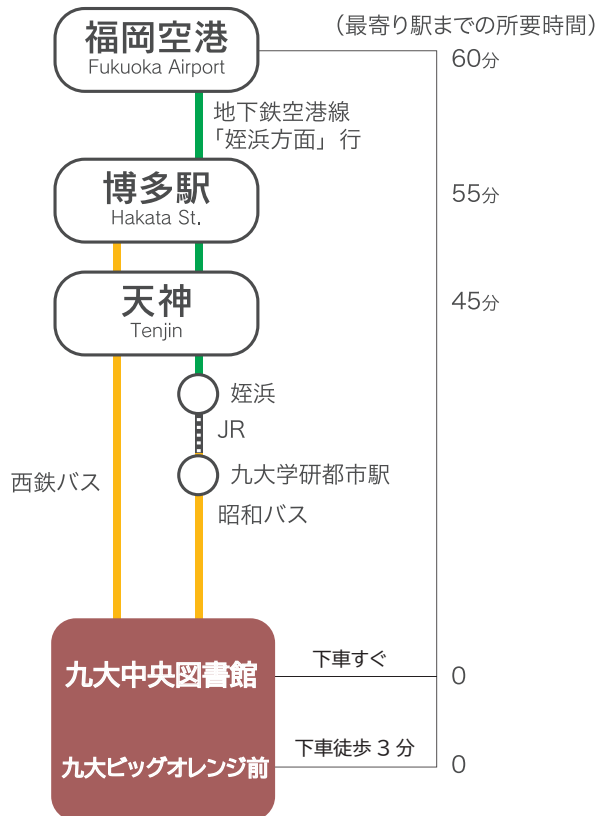
謝辞

本展示会の経費の一部は九州大学デジタル資料整備事業により皆様からご支援いただきました。心よりお礼申し上げます。

会場への交通アクセス



九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡市西区元岡 744)



※できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※お車でお越しの方は、守衛所に付属図書館の展示会にいらした旨、お伝えください。